

一般社団法人共育舎あおぞら会 あおぞらクラブ児童育成会 2025年度事業報告・決算

1. 児童の利用状況

月別利用児童数（小学生）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	62	64	63	64	61	62	60	60	60	60	59	59

学年別人数（年度中登録実績児童数）

小1	小2	小3	小4	小5	小6	計			
23	11	14	9	7	5	69	・元町小	・開成小	・栄南小
							・元町北小	・伏古北小	・明園小
							・幌北小	・栄町小	・教育大付

2. 職員の体制

職種	氏名	備考
放課後児童支援員（正職）	中野 範子	所長・放課後児童支援員、理事長
	中野 真佑	所長・放課後児童支援員 保育計画・おやつ計画
	中野 建	放課後児童支援員、送迎統括
	石山 神二	放課後児童支援員、記録
放課後児童支援員（常勤）	高橋 裕紀	放課後児童支援員
放課後児童支援員（非常勤）	小田 弘子	放課後児童支援員、送迎
補助員（非常勤）	中野 美和 竹内 良怜 田島 七海 島田 美穂 越智 柚葉 佐藤 守人 金澤 良子（6月採用8月退職） 多田 祥可（6月採用2月退職） 木村 棕稀（7月採用）	支援員補助、長期休み保育、 土曜日保育、早朝・夜間等保育 おやつ準備・かたづけ、送迎
事務員 おやつ担当 掃除	稲垣 博郁（8月退職） 細島 祐希 細島 清楓 戸田有美	現金管理、書類・お便り作成、他 おやつづくり、献立、食材調達 施設清掃
送迎員	小田 義人 島田 明彦 戸田有美 荒川弘生	送迎
事務委託（経理・出納・給与）	馬場 佐智子	理事・学童保育サポートセンター

3. 開所状況

開所区分	支援の単位 A		支援の単位 B	
平日	194 日	14 : 30～19 : 00	194 日	14 : 30～20 : 00
平日の学校休校日	12 日	8 : 00～19 : 00	11 日	7 : 00～20 : 00
土曜日	29 日	8 : 00～16 : 00	44 日	8 : 00～17 : 00
土曜日の学校開校日	6 日	8 : 00～16 : 00	6 日	8 : 00～17 : 00
長期休み	33 日	8 : 00～19 : 00	33 日	7 : 00～20 : 00
合計	274 日		288 日	

4. 活動状況 （保育総括は別紙に記載）

（1）保護者とのつながり、保護者会との連携

- 保護者とは学年別懇談会を開催し、子どもの様子や子育ての悩みを出し合いながら保育内容や方針を伝えた。また、保護者会の集まりへの出席、日常的な電話相談、お便り発行で情報提供等に努め、保護者との連携を図った。
- 行事では、夏休み合宿、スキー教室などに保護者会の協力を得ながら充実した取り組みを行うことができた。
- 保護者会と秋祭りを計画し、地域や学校への案内を行って準備を進めた。当日会場の北 26 条こどもの国公園には大勢の親子連れや地域の子どもたちが来場して賑わった。
保護者会より、バザーの売上金などから子どもたちの保育活動の充実のために寄付をいただき、有効に活用させていただいた。
- 保護者会役員と理事会、支援員の三者による運営協議会を開催し、それぞれの指導員から保育のとりくみ、理事からクラブの運営状況を報告し、保護者から子どもの様子やクラブへの要望、改善点を確認した。子どもたちが楽しいと感じる日々の生活づくりをどのようにつくっていくか、保護者と一緒に考えていく機会となった。

（2）指導員の労働条件等の改善

- 支援員の長時間労働の軽減と児童数の増加に対応するため、補助員の増員、送迎専門スタッフの増員、おやつ担当者、清掃員の配置を行った。
- 保育の質を確保するため、職員の保育会議、内部研修の時間をしっかり確保して実施した。また、長期休みの行事実施に向けて、経験年数の短い指導員に野外活動の実地研修やスキーレッスンなどによる技術習得の機会を持った。

- 補助員の放課後児童支援員資格の取得を奨励し、3名が年度内に資格を取得した。

(3) 保育環境、施設整備

- 第二施設の耐震工事と室内の改装工事を行って快適な施設に整備し、保育環境の改善を図った。合わせて、第二施設の物置を改修し、工作室を設置した。
- 古くなった送迎車両1台の買い替えを行った。

(4) 地域との連携

- 秋祭りの時には、会場設営や物品の貸与に連合町内会のご協力をいただいた。
- 日頃あおぞらを温かく見守ってくださる地域に感謝し、子どもたちと地域のゴミ拾いや除雪などのボランティア活動を行った。